

大会名称: 第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: ツインドーム重信 Aコート

試合区分: No. 11 成年男子 決勝

期 日: 2017(H29)年10月4日(水)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30



主審: 片寄 達

第1副審: 阿部 聖

第2副審: 堀内 純

秋田 (東北)	○ 92	● 91	愛知 (東海)
		26 - 28 19 - 19 26 - 18 21 - 26 - - -	

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		佐藤 光	0	0	0	0	1	1	0
5		大矢 孝太郎	14	0	7	0	2	5	2
6		館 龍星	6	0	3	0	5	2	0
7	*	鈴木 隆史	15	3	3	0	4	10	3
8		志水 一希	-	-	-	-	-	-	-
9		菊地 啓志	-	-	-	-	-	-	-
10		高橋 純	0	0	0	0	1	0	0
11	*	山崎 渉真	27	4	6	3	3	4	1
12	*	根岸 城二	4	0	2	0	2	0	0
13	*	柳澤 洸太	2	0	1	0	0	4	9
14	*	森 知史	24	0	11	2	2	5	0
15		齊藤 大輔	-	-	-	-	-	-	-
HC		柿崎 智弥 / TEAM							
		合計	92	7	33	5	20	31	15

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		熊谷 慎也	-	-	-	-	-	-	-
5	*	池嶋 一輝	19	0	9	1	2	11	1
6		渡邊 拓実	3	1	0	0	2	2	1
7	*	石原 裕貴	6	0	3	0	0	1	5
10	*	藤田 俊祐	39	1	16	4	4	2	1
11	*	熊澤 恭平	7	1	1	2	1	5	4
12	*	寺部 亮佑	12	0	4	4	4	9	4
13		加藤 慧	5	1	1	0	1	3	2
14		高橋 理輝	-	-	-	-	-	-	-
HC		杉浦 良直 / TEAM							
		合計	91	4	34	11	14	33	18

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤愛知県は、#10の3Pやゴール下シュートでリードを奪うも、秋田県は、#11のアウトサイドシュートを中心に応戦。両チームのエースが激しい点の奪い合いを展開し、愛知県が26-28と2点リードで終了。
 第2ピリオド、秋田県は速い展開から#5が得点を重ねる。しかし、愛知県は、#5のドライブインや#10のゴール下シュートが決まり反撃を許さず、一進一退の攻防が続く。前半は、愛知県が45-47と2点リードで終了。
 第3ピリオド、開始直後秋田県は、速攻から#12が2Pを決めて逆転。対する愛知県も、#10の連続ゴールですぐに追いつく。両チーム譲らない展開が続くが、残り2分で秋田県が、#14の速攻からのシュートで8点差とすると、愛知県はたまたまタイムアウトを請求。その後愛知県は、#10が連続してシュートを決めるも、秋田県が71-65と6点リードで終了。
 第4ピリオド、愛知県は、#5のアウトサイドシュートと#12のポストプレーで徐々に点差を縮め、開始3分に#12のゴール下シュートがバスケットカウントとなり、フリースローも決まり、愛知県が75-76と逆転する。その後一進一退の攻防が続くが、残り1分、秋田県はディフェンスとリバウンドで貢献していた#7がゴール下シュートを決め、91-89と再びリードを奪う。タイムアウトを取った愛知県は、#10のミドルシュートですぐに同点とすると、今度は秋田県がすかさずタイムアウトを請求。最後は、残り0.7秒で、秋田県の速攻がファウルを誘い、#11が冷静にフリースローを1本決め、結局秋田県が92-91で見事優勝を果たした。試合終盤は、逆転につく逆転で最後まで勝敗の行方の分からない手に汗握る熱戦であり、観客席も大いに盛り上がり決勝戦にふさわしい好試合であった。

担当者: 高津 誠司(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

